

【岐阜高専】岐阜県知事 江崎禎英 氏による講演会を開催

令和8年2月4日、岐阜工業高等専門学校（岐阜県本巣市 校長：大塚友彦 以下「岐阜高専」）にて、学生、地域企業関係者等約 600 人を対象に、岐阜県知事 江崎禎英 氏による講演会を開催しました。

今回の講演会は、岐阜県が、岐阜高専 地域連携協力会の特別会員であることもあり、知事自らが若い人たちにメッセージを送る機会として企画されました。

江崎知事は、「世界の中の日本を考える～日本のモノづくりと競争力の源泉～」と題し、自身のこれまでの経験を交え、世界の中から見れば日本は、「世界で有数の『豊か』で、『安全』で、『衛生的』で、『文化的』な国」である。しかし、日本人自身は意外と気が付いていない。視点を改めて考える」ことが重要と話しました。

また、日本の「思いやり」、「おもてなし」という言葉は、多くの外国語にはなく、お客様の立場に立って、手を抜かないモノづくりは日本の強みであり、今後のモノづくりにとって、お客様の「感動」、「知的好奇心」、「体験」、「共感」がさらに大切としました。

最後に、「私たちが当たり前だと思っていることは、世界から見ればすごい価値がある。それを皆さんが『カタチ』にして世界に発信して欲しい。何を守り、何を変えていくのか、未来を創るのは皆さんです」と学生に言葉を送りました。

参加した高専生は、講演を熱心に聴講し、知事に対し、地域の産業についての質問もありました。最後に代表学生が「世界から見た日本のモノづくり、経済について、新たな視点から大変勉強になりました」とお礼の言葉を述べました。

今回の講演会を聴講した学生たちが、今後、日本や世界で活躍することを期待しています。



講演を行う江崎禎英岐阜県知事 @岐阜高専体育館